

MIW通信 59

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。
Mはman（男性）、Wはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

2026

MIW マスコットキャラクター
みゅうじろう



左上 藤田真文さん
左下 男女共同参画週間企画展示の様子
右下 横山美和さん



◆特集 1

テレビドラマが映す恋愛・結婚・家族 ～1980年代を起点に
インタビュー 藤田真文さん …p2

◆特集 2

誰かに悩みを相談したいときに
～“相談相手”としてのAIとの付き合い方
インタビュー 横山美和さん …p6

◇ 令和7年度千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査 …p10

特集1

テレビドラマが映す恋愛・結婚・家族 ～ 1980年代を起点に

私たちの日常に寄り添い、時に社会のトレンドを生み出してきたテレビドラマ。画面の向こうで描かれる「恋愛・結婚・家族」の姿は、時代の変化を反映し、私たちが歩んできた道のりでもあります。1980年代は、安定成長期からバブル経済へと移行し、人々のライフスタイルが大きく変化した時代でした。「恋愛・結婚・家族」についての意識が画一的な形から多様性へと向かい始めたスタート地点と言えるでしょう。1980年代を起点にして、テレビドラマは、私たちの生き方をどう映し出してきたのでしょうか。長年にわたりドラマ研究を重ねてこられた藤田真文さんにお話を伺いました。



1980年代以降、テレビドラマで恋愛・結婚・家族はどう描かれてきましたか？

1980年代から今日まで、テレビドラマが描く恋愛・結婚・家族の形は、社会構造の変化とともに大きく変遷してきました。現代を舞台にするドラマは、制作当時の社会情勢や人々の価値観を鋭敏に反映するメディアであり、私たちの意識と相互に影響し合っています。

1980年代当時、女性の平均初婚年齢は24～25歳で、まだ「結婚適齢期」という言葉が生きていた時代でした。山田太一脚本の『想い出づくり』¹（1981年）では、適齢期を迎えたヒロインたちが「結婚までに自分らしく生きた足跡を残そう」と模索する姿が描かれました。

当時の日本社会は、結婚・出産を機に女性が退職し、30代前半にかけて就業率が落ち込む「M字カーブ」²が顕著な時代。しかし、女性が働き続け、経済的に自立していくにつれて、結婚は「人生の絶対的な義務」ではなくなってきました。2000年代以降には、『結

ふじた まふみ
藤田真文さん

Profile

法政大学社会学部メディア社会学科教授。専攻はメディア論、マスコミュニケーション論、テレビドラマ研究。著書に『テレビドラマ研究の教科書—ジェンダー・家族・都市』（青弓社）、『ギフト、再配達—テレビテキスト入門』（せりか書房）、編著に『メディアの卒論—テーマ・方法・実際 [第2版]』（ミネルヴァ書房）、共編著に『メディアが震えた—テレビ・ラジオと東日本大震災』（東京大学出版会）、共著に『ニュース空間の社会学—不安と危機をめぐる現代メディア論』（世界思想社）など。



本文中で紹介したドラマ

¹ 『想い出づくり』（1981年）

脚本：山田太一
主演：森昌子、田中裕子、古手川祐子

² 『結婚できない男』（2006年）

脚本：尾崎将也
主演：阿部寛、夏川結衣

* 女性の年齢階級別労働力率（働く人の割合をグラフにした場合、結婚・出産の時期にあたる20代後半から30代にかけて就業率が低下し子育てが落ち着いた40代以降に再び上昇してアルファベットの「M」のような形状を描く現象のこと。



藤田真文さん

婚できない男』²（2006年）で40代の独身建築家が女性たちとの出会いや衝突を経て、自身の生き方や結婚について少しずつ向き合いつつも「結婚しない」という選択肢が描かれ、『最高の離婚』³（2013年）では、性格も考え方も異なる夫婦が離婚を通してお互いを見つめ直す関係性が描かれるなど、結婚の前提そのものを問う作品が登場するようになりました。

「結婚してハッピーエンド」のドラマがなぜ多かったのでしょうか？

かつて、ドラマにおける恋愛と結婚は密接に結びついていました。「運命の相手と出会い、恋愛のゴールとして結婚する」という「ロマンティック・ラブ・

イデオロギー」が主流だったのです。

90年代のトレンドドラマを経て、2000年代の『やまとなでしこ』⁴（2000年）では「愛よりお金」と信じる美女が、貧乏だけど心優しい男性と真実の愛に目覚めるストーリーでした。もう少し後の『プロポーズ大作戦』⁵（2007年）でも同様で、幼馴染みの女性の結婚式で、もし自分が告白して結ばれていたなら…とタイムリープする設定で、一途な想いの先に結婚を据える価値観は長く支持されてきたのだと思います。

しかし、『逃げるは恥だが役に立つ』⁶（2016年）の登場により、その描き方は変わってきます。この作品は、家事労働の対価を可視化し、結婚を「家族の共同経営」と定義しました。これは「好きだから無償で働く（好きの搾取）」という従来の恋愛至上主義への問題提起であり、経済的・心理的な安定を動機とする結婚を肯定するものでした。最終回で入籍、事実婚、別居婚など多様な道が示されたように、現代のドラマに

おいて結婚は「ゴール」ではなく、「共同生活の同志（パートナー）」になることとして描かれるケースが増えています。

家族の描き方も変化していますか？

家族の描き方もまた、家父長制的な縛りの変化とともに移り変わっています。

1980年代の『金曜日の妻たちへ』⁷シリーズでは夫婦間の不倫が日常的に描かれてましたが、最終的には元の家族形態を維持する結末が多く見られました。また、かつての定番だった「嫁姑の対立」も、90年代の『冬彦さん』で記憶に残る『ずっとあなたが好きだった』⁸（1992年）あたりを境に減少していきます。

2010年代以降は「絶対的な正解としての家族モデル」が消失し、家族の拘束力は弱まっています。現実の社会変化とドラマの表現は、時にズレを含みながらも、互いを映し合っています。最近では『ぼくたち家』⁹（2025年）のように、血縁関係のない者同士が支え合って暮らす姿を描く作品も登場しました。

3 『最高の離婚』（2013年）

脚本…坂元裕一
主演…瑛太、尾野真千子

4 『やまとなでしこ』（2000年）

脚本…中園ミホ、相沢友子
主演…松嶋菜々子、堤真一

5 『プロポーズ大作戦』（2007年）

脚本…金子茂樹
主演…山下智久、長澤まさみ

6 『逃げるは恥だが役に立つ』（2016年）

脚本…野木亜紀子
主演…新垣結衣、星野源

7 『金曜日の妻たちへ』

第1作（1983年）
脚本…鎌田敏夫
主演…古谷一行、小川知子

8 『ずっとあなたが好きだった』（1992年）

脚本…君塚良一
主演…賀来千香子、布施博

9 『ぼくたち家』（2025年）

脚本…松本優紀
主演…及川光博、手越祐也



「結婚してもしなくてもいい」「子どもを持つても持たなくてもいい」という選択肢がある時代だからこそ、逆に「家族である意味」が問われています。最近のドラマでは、血縁の強さよりも、「個人の居心地の良さ」や「ゆるやかなつながりとしての共同体」へ関心が移っていると言えるでしょう。

家事についてのドラマが最近多いのはなぜでしょうか？

結婚や家族をめぐる意識の変化は、劇中の「家事や育児の描写」にも顕著に現れています。

『アットホーム・ダッド』¹⁰（2004年）では専業主夫とキャリアウーマンの逆転劇が描かれ、前述の『逃げ恥』（2016年）はケア労働を誰が担うのかという視点を世に問いました。かつて女性の役目とされた家事は、今や「共同作業」や「アウトソーシング（外部委託）」の対象として描かれます。

『私の家政夫ナギサさん』¹¹（2020年）では、仕事に奮闘する女性を男性家政夫が

サポートする夢のような世界観が共感を呼び、最近の『じゃあ、あんたが作ってみようよ』¹²（2025年）でも、料理をはじめとする家事を女性だけに背負わせる不均衡に鋭く切り込んでいます。

これらの作品は、「ケアは性別を問わず家族の誰かが担えるものであり、家族以外に頼ることも可能だ」という選択肢を提示し、根深い性別役割分業の妥当性を問いかけています。現実には未だ女性への負担が偏っているからこそ、ドラマは今も繰り返しているテーマを取り上げているのかもしれない。

これからのドラマは何を描いていくのでしょうか？

近年の日本のドラマは、悪意のない「優しい日常」の中で、恋愛や結婚を前提としない人間関係を描く傾向が強まっています。

一方で、男女共同参画の視点から見ると、劇中で女性の活躍は描かれるものの、「組織の中でキャリアを切り拓き、地位を築いていくポジティブなロールモデル」は未だ不足

しているという印象があります。女性が働くことの「大変さ」だけでなく、ステップアップしていく姿や、それを支える職場の変化なども、今後はもっと見てみたいテーマです。

日本のドラマにおける結婚や家族は、縛りから解放され、個人の自由な選択を尊重する方向へと進化してきました。「普通のライフコース」が崩壊した現代だからこそ、ドラマは「なぜ共に生きるのか」という本質的な問いへの答えを、心理的な安心感や新たな連帯の形の中に模索し続けているのではないかと考えます。

テレビドラマが描く現代社会、その中の女性や家族を視聴することで、私たち視聴者は同時代に生きている感覚を共有することができます。SNSなどの情報によって個別化、あるいは分断される現代社会で、その時代の社会の在り方や課題に目を向けるためには、テレビドラマがもたらす共感こそが求められているのではないのでしょうか。



藤田真文さんの
著書です！

MIW 情報ライブラリにも
所蔵しています。
ぜひお手にとって
ご覧ください。



『テレビドラマ研究の教科書：ジェンダー・家族・都市』

藤田真文著／青弓社（2024.10）

¹⁰ 『アットホーム・ダッド』（2004年）

脚本…尾崎将也・旺季志ずか
主演…阿部寛、篠原涼子

¹¹ 『私の家政夫ナギサさん』

（2020年）
脚本…徳尾浩司、山下すばる
主演…多部未華子、大森南朋

¹² 『じゃあ、あんたが作ってみようよ』

（2025年）
脚本…安藤奎、加藤法子、上野詩織、
中屋敷法仁
主演…夏帆、竹内涼真

テレビドラマにおける恋愛・結婚・家族の描かれ方 — 1980年代～2020年代

年代	社会の主な出来事 男女共同参画の動き	恋愛・結婚・家族についての代表的な テレビドラマ	ドラマに描かれた恋愛・結婚・家庭の特徴
1980年代	バブル景気（1986～） 昭和から平成へ（1989） 女子差別撤廃条約署名（1980） 男女雇用機会均等法施行（1986）	『想い出づくり』（1981） 『金曜日の妻たちへ』（1983） 『男女7人夏物語』（1986） 『男女7人秋物語』（1987） 『抱きしめたい』（1988）	・性別役割分業は盤石だが、「個人」の欲求が可視化されはじめる ・専業主婦の不倫や、都市部で働く男女の軽やかな恋愛が登場 ・結婚は「女性の幸福の終着点」 ・不倫をしても結局は家庭に帰る
1990年代	バブル崩壊（1991～） 少子化 1.57 ショック（1990） 就職氷河期（1993～） 阪神・淡路大震災（1995） インターネット普及 育児・介護休業法成立（1995） 男女共同参画社会基本法施行（1999） 共働き世帯の増加	『東京ラブストーリー』（1991） 『ずっとあなたが好きだった』（1992） 『長男の嫁』（1994） 『愛していると言ってくれ』（1995） 『ロングバケーション』（1996）	・女性の自立と「自分らしさ」の追求 ・仕事を持ち、恋愛に能動的な女性像が確立 ・女性の初婚年齢は上がってきたものの、依然として結婚への強い社会的圧力を感じる ・嫁姑問題が描かれるが、極端な例として強調されたりコミカルに描かれる
2000年代	介護保険制度開始（2000） 非正規雇用の拡大（2003～規制緩和） 郵政民営化（2007） 婚活ブーム 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律成立（2001）	『やまとなでしこ』（2000） 『アットホーム・ダッド』（2004） 『結婚できない男』（2006） 『プロポーズ大作戦』（2007） 『Around40～注文の多いオンナたち～』（2008）	・格差社会の到来 ・「生存戦略」としての結婚 ・女性の経済力やキャリアへの注目 ・未婚・晩婚化が可視化 ・生き方の多様性を模索 ・根強いロマンティック・ラブ・イデオロギー
2010年代	東日本大震災（2011） アベノミクス始動（2012） SDGs（2016スタート） 「ダイバーシティ2.0行動ガイドライン」策定（2017） 働き方改革関連法施行（2019） 平成から令和へ（2019） 待機児童問題「日本死ぬ」（2016）	『カーネーション』（2011） 『最高の離婚』（2013） 『逃げるは恥だが役に立つ』（2016） 『まだ結婚できない男』（2019） 『凧のお暇』（2019）	・家事労働の再定義とパートナーシップ ・「愛があれば」という精神論ではなく、家事労働の対価や契約としての結婚を提示 ・性別役割分業に対する違和感と問い直し ・恋愛や結婚が呪縛や抑圧の原因として描かれる ・世間の「こうあるべき」からの逸脱
2020年代	コロナ禍（2020～2023） こども家庭庁発足（2023） 日本初の女性総理大臣誕生（2025） LGBT 理解増進法成立（2023） 女性活躍推進法改正（2026）	『私の家政夫ナギサさん』（2020） 『大豆田とわ子と三人の元夫』（2021） 『虎に翼』（2024） 『じゃあ、あんたが作ってみよう』（2025） 『ぼくたち家』（2025）	・家事労働やケアワークをだれが担うのか ・「結婚＝ゴール」からの解放 ・離婚を失敗と見なさない価値観 ・異性愛・恋愛至上主義に縛られない友情 ・再構成される家族（キア含む）

『虎に翼』の脚本家・吉田恵里香さんがMIW男女共同参画週間講演会に登壇されました！



（左から）アヤ藍さん、吉田恵里香さん

6月29日（月）、脚本家、吉田恵里香さんの講演会「今、立ち止まって問う！ 今日よりもっと、いい明日のために」を開催しました。会場とオンラインのハイブリッド方式で行われ、参加者は合計で100名以上となる盛況ぶりでした。

映画探検家のアヤ藍さんを聞き手に迎え、吉田さんが脚本家になるまでの道のりや作品づくり、そして『虎に翼』に込めた想いが語られました。吉田さんの作品には「女性はどうあるべき」という枠を打ち破る女性が多く登場します。「はて？」と差別や偏見を問い直し、恐れずに怒りを表し声をあげることが、対話を生み、社会を変えるきっかけになるというお話に、参加者は大いにエンパワーされました。私たち一人ひとりに何ができるかを考える貴重な時間となりました。



誰かに悩みを相談したいときに “相談相手”としての AI との付き合い方

私たちの暮らしに急速に入り込んできた対話型の生成 AI。最近では、勉強や仕事、日常生活の話し相手など、さまざまな場面で活用されています。AI を相談相手として使う人が増えていますが、新しいテクノロジーには驚くようなメリットがある半面、さまざまなリスクがあることが指摘されています。AI とジェンダーについて研究を進めてこられた横山美和さんにお話をお聞きしました。



なぜ今、AI がこんなに身近になったのですか？

AI の歴史を振り返れば、大きく3つのブームと冬の時代を経て展開してきたことがわかります。1950〜60年代の第一次ブームでは「探索と推論」によってパズルなどを解く能力が注目されましたが、複雑な現実問題には対応できず衰退しました。1980年代の第二次ブームは、専門知識をルール化するシステムが作られたものの、膨大な知識を手作業で入力することがハードルとなりました。2000年代に「ディープラーニング」*が登場

interview

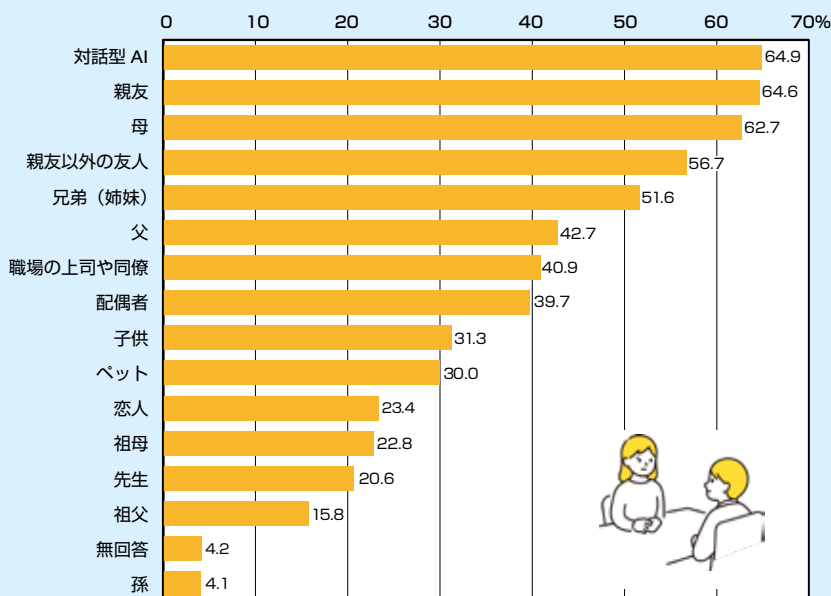
よこやま み わ
横山美和さん



プロフィール

都留文科大学教養学部比較文化学科准教授。「科学とジェンダー」を専門とする。特に、女性科学者支援政策、産児調節運動の歴史、AI とジェンダーの研究など。

感情を共有できる人の割合



「対話型 AI との関係性に関する意識調査」電通 2025

し、AI が自ら大量のデータから特徴を学習するようになり、現在の生成 AI に飛躍的な発展をし、第三次ブームとなっています。決定的な転換点となったのは2022年の ChatGPT の無料公開です。これによって専門知識がなくても、普通に人に話しかけるような言葉で操作できる

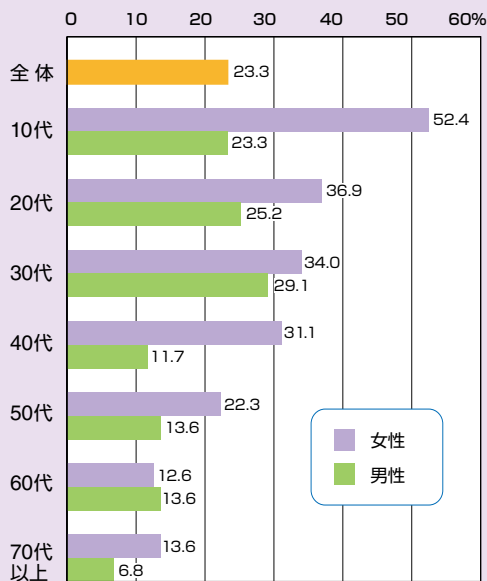
生成 AI が広まりました。日常語の質問や指示を理解し、人間のようにならな文章や画像を生成できる点が、従来の AI (Siri や Google アシスタントなど) と異なり画期的でした。

相談相手として AI は信頼できますか？

AI を全面的に信頼するこ

* ディープラーニング (深層学習) とは人間の脳の神経回路を模した AI の学習手法で、AI が大量のデータから自ら「特徴やパターン」を見つけ出すことができる技術。現在の高度な自動翻訳や生成 AI などを支える中核的な技術。

生成 AI の使用目的に
「悩み相談」を挙げた割合



「生成 AI 利用者の利用実態に関するアンケート」内閣府 消費者委員会 2026

とは危険ですが、その回答能力は驚くべきものであり、実際には AI を相談相手にする人はとても増えています。2025年の調査では、「感情を共有できる相手」として対話型 AI を選ぶ人が 64.9% に上り、親友や母親と並ぶという結果が出ています。^{*} 他の調査でも、日常の使用目的についての質問で、10代女性の 52% が「悩み相談」と回答するなど、若い世代を中心に AI への信頼度が高まっています。^{***} LINE などと人と会話するようにテキスト形式でやり取りできる手軽さが、相談のハードルを大きく下げていると考えられます。

AI への相談には、人には言えないような悩みが言いやすいというメリットがあります。人間相手だと「こんなことで悩むなんておかしいと思われるかも」と思うことも、AI は感情なしに受け止めてくれます。24時間いつでも、すぐに、しかも無料で回答してくれるのも大きな利点です。気になっていることを AI に話すことで、自分の考えを整理したり、もやもやした気持ちを言語化したりすることもできるでしょう。自分の悩みがどのようなことにかかわるものか判断してもらって、問題に気づきかけにもなります。

最近では、行政や民間企業が、

子育て、若者の悩み、メンタルヘルスなど、特定の分野に特化した相談専用 AI を提供するケースが増えています。これらは専門家の監修が入っていることが多いため、汎用的な AI よりも信頼性が高いと言えます。

相談するときに気をつけることはありますか？

AI への相談には注意すべき点がいくつかあります。最近注目が集まっているのが、「シコファンシー（おべっか、追従）」と呼ばれる現象です。AI には感情がありませんが、利用者の言葉を過剰に肯定し、おだてるような言葉を並べる傾向があります。

心地よい言葉をかけられることで、利用者は「無条件に受け入れられた」と感じて AI に依存しやすくなります。人間関係のなかでは、時に批判されたり異なる意見に接したりすることで自分の意見の修正をしたり視野を広げたりできますが、今の AI は利用者をほとんど批判しません。結果として利用者が現実の他者とのやり取りができなくな

るなど、社会的スキルが低下する懸念がありますし、思い込みをさらに強化してしまう危険もあります。特にメンタルが弱っている人ほど、AI の言葉だけを信じて孤立してしまう危険性が指摘されています。

AI にジェンダーの問題はありますか？

AI には「差別を学んで差別をする」という問題があります。AI はネット上の膨大なデータを学習しますが、そこには人間のステレオタイプが色濃く反映されています。例えば、画像を生成する際、「CEO（経営責任者）」や「医師」と入力すると男性が、「看護師」と入力すると女性が出力されやすいといった偏りが依然として存在します。そういったジェンダーバイアスが相談に反映されていたらどうでしょうか。キャリアや家庭の悩みについて相談した際、性別に基づく偏ったアドバイスを受け取ってしまう可能性はあるのです。企業側も対策を講じていますが、根本的な

^{**} 「対話型 AI との関係性に関する意識調査」電通 2025 https://release.nikkei.co.jp/attach/693477/01_202507031505.pdf

^{***} 「生成 AI 利用者の利用実態に関するアンケート」内閣府 消費者委員会 2026 https://www.cao.go.jp/consumer/kabusoshiki/ai_technology/doc/002_260331_shiryoku2.pdf



横山美和さん

解決には至っていないのが現状です。

ほかに対話型AIについて知っておくべきことは？

利用者が入力した情報をAIが学習し、漏洩する可能性があることです。使い慣れて警戒心が薄れ、不用意に個人情報や機密情報を入力してしまうと、思わぬ情報漏洩につながる恐れがあります。個人情報や機密情報は入力しないようにしてください。

AIが答えを捏造して、自信満々に誤情報を提示する「ハルシネーション（もつともらしい嘘）」もしばしば起こります。AIは意味を理解して回答している訳ではなく、イン

ターネット上の膨大な情報を学習して、「次に来る言葉」を確率的に並べているに過ぎないので。学習した情報が誤っていたり、古かったりすることもありそうです。鵜呑みにしないように気を付けましょう。AIは存在しない参考文献をでっち上げたりもしますので、もつともらしく見えても注意してください。

AIとの健全な付き合い方を教えてください。

私たちがAIと健全に付き合っていくためには、たくさんある「道具（ツール）」のひとつとして使っていくという意識を持ちましょう。決してAIを唯一のよりどころにしないでください。AIの回答を鵜呑みにせず、新聞、本、人との会話など多様な情報源を持ち、最終的には自分自身で「考え」「判断する」リテラシーを養うことが重要です。AIは非常に便利な道具ですが、その裏にあるバイアスやリスクを正しく理解し、適切な距離感を保って使うことが求められます。

AI相談と人による相談は異なりますか？

AIとの対話はストレス解消や心の整理の大きな助けになります。しかし、AIは実際の援助をしたり、その手配をしたりしませんし、言葉に責任を持つこともできません。「まだ問題が解決していない」「なんだか心が晴れない」と少しでも感じた時は、対面での相談窓口を頼ってください。カウンセラーや相談員はAIのようにただ肯定したりしませんし、この場合はこう、というように瞬時にもつともらしい回答をしたりするわけではありませんので、「タイパ（タイムパフォーマンス）」が悪いと感じるかもしれません。しかし、専門の相談員やカウンセラーには、人間だからこそ、そして専門家だからこそできる支援があります。「相談に乗る」ことは、実は高度な専門知識とスキルが必要な行為です。専門家は必要な訓練を受け、多くの経験知をもっています。その人が抱えている問題が社会のなかでどのように位置づけられるかを判断し、相談者の経歴

や状況を多角的に分析し、責任を持って問題解決に向けて伴走してくれます。ぜひ、お住まいの地域の相談窓口もチェックしてみてください。



MIW相談室をご利用ください



パートナーのこと、家族のこと、人間関係のことLGBTQのこと…。MIW相談室は、あなたが抱えているさまざまな悩みや困りごとを一緒に整理し、問題解決の糸口を見つけるお手伝いをしています。静かで落ち着いた空間で、一緒に話してみませんか。（詳しくは12ページ参照）

第14回 MIW 祭り

を開催します！



日時 10/2 金 11:00～17:00

会場 千代田区役所区民ホール・男女共同参画センター MIW

テーマ

“わたし”は選ぶ つながる 未来

MIW祭りは、MIWの活動を周知するとともに、地域で活動するMIWの登録団体や区内大学、企業、その他協力団体等が日ごろの活動を発表するイベントです。ひとりひとりが「自分らしい選択」ができ、その立場の違いを超えて「つながる」ことのできる「男女共同参画社会」を目指すために、一步を踏み出してみませんか。

お昼休みイベント

12:00～ 区民ホール

- 開会の挨拶
- 男女共同参画川柳コンテスト 大賞発表



● サイエンスショー「好き!から始まるサイエンス」



ゲスト：すずき まどかさん
(サイエンスパフォーマー・保育士)

「かがくママ」として全国で実験ショーおよび実験教室をしているゲストによる、子どもから大人まで楽しめる参加体験型のサイエンスショー。あなたの「好き!」を見つけてみませんか？

- MIW登録団体や区内大学、地域団体等のステージやブース、物販、ワークショップなどを実施します！
- 嬉しい景品つきのクイズラリーもあります！
MIW祭り会場内の展示パネルやポスターの中にクイズの答えを見つけて、MIWオリジナルグッズなどの景品をゲットしよう！

景品イメージ▶
(クリアスマホ
ショルダーバッグ)



MIW祭り準備会では登録団体の皆様のご協力をいただきました！



みなさんのご来場を
お待ちしております！



▲MIW祭りの
詳しい情報は
こちらから

に関する意識・実態調査

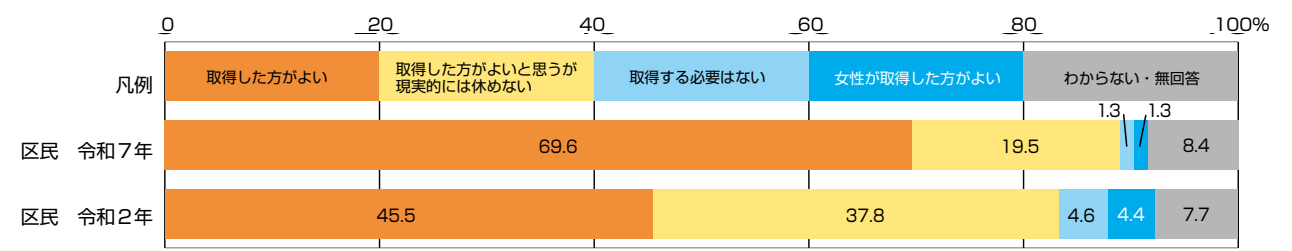


■ 調査概要

- (1) 調査対象：① 満18歳以上の区民 1,500人 ② 満13歳～17歳の区民 1,500人
③ 区内の事業所 1,100事業所（①～③いずれも無作為抽出）
- (2) 調査期間：令和7年（2025）年8月1日～8月25日
- (3) 調査方法：郵送配布・郵送回収（インターネット回答を併用）
- (4) 回収率：① 25.7%（385件） ② 22.3%（335件） ③ 17.9%（197件）

※（1）調査対象の①の調査を「区民」、②の調査を「青少年」、③の調査を「事業所」と表記。各調査により設問・選択肢が異なる場合は、便宜的にまとめている。

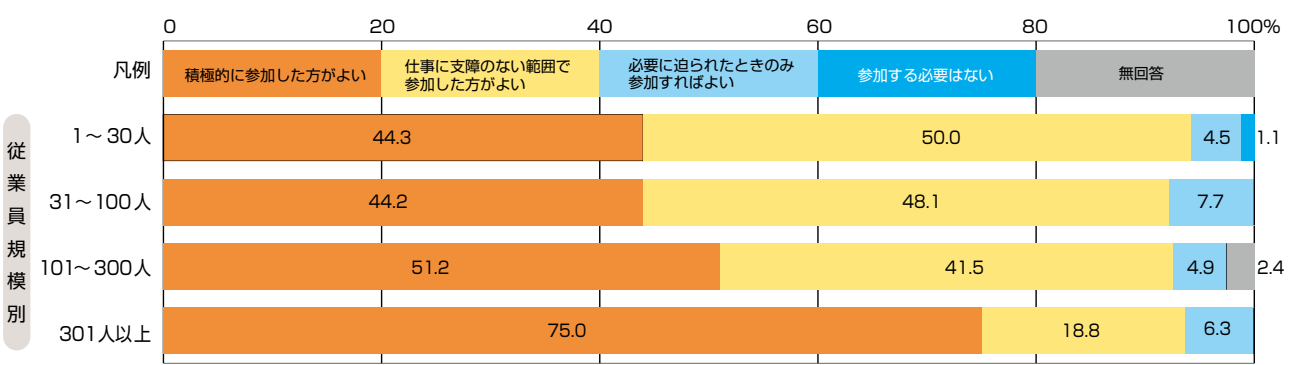
Q. 育児休業や介護休業は男性も女性も取ることができる制度ですが、それらを取得することについて、どのように思いますか？



育児・介護休業取得について、「育児・介護休業を取った方がよい」と思う区民は69.6%と、令和2年の調査（45.5%）と比べると、24.1ポイント増加しています。育児・介護休業取得について前向きな意識が広がっているものの、現実的には休めないと考えている人も一定数います。

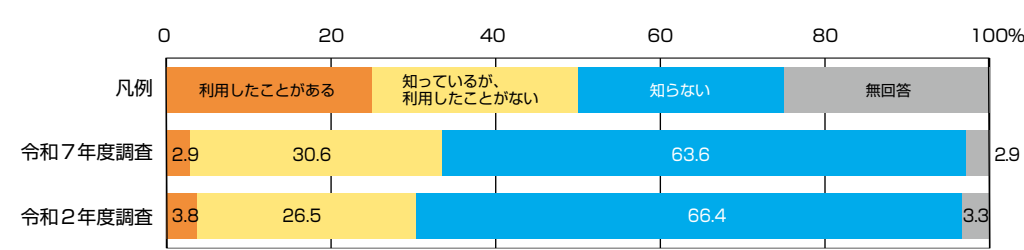


Q. 男性従業員が育児に参加することについてどう考えてどう思いますか？



男性従業員の育児参加について、事業所側からも前向きな回答が増加しているものの、その意識には事業所の規模による違いが見られます。

Q. 千代田区男女共同参画センター MIW を知っていますか？



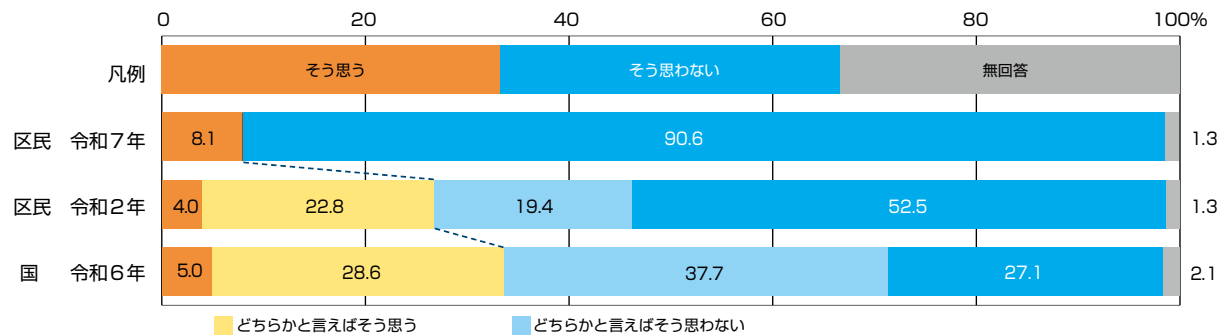
MIWを「知っている」という人は少しずつ増えています。一方で、実際に利用したことがある人はまだ多くありません。MIWでは講座やイベント、相談などさまざまな事業を行っています。今後も多くの皆さまに利用していただけるよう、分かりやすい情報発信に努めていきます。

令和7年度千代田区ジェンダー

千代田区では、性別による不平等がなく、誰もが自分らしい生き方を選ぶことができ、その選択肢が認められて参画できる社会の実現を目指し、「千代田区ジェンダー平等推進行動計画」を策定しています。令和9(2027)～14(2033)年度を計画期間(予定)とする第7次計画策定の参考とするため、区民・事業者にアンケート調査*を実施しました。

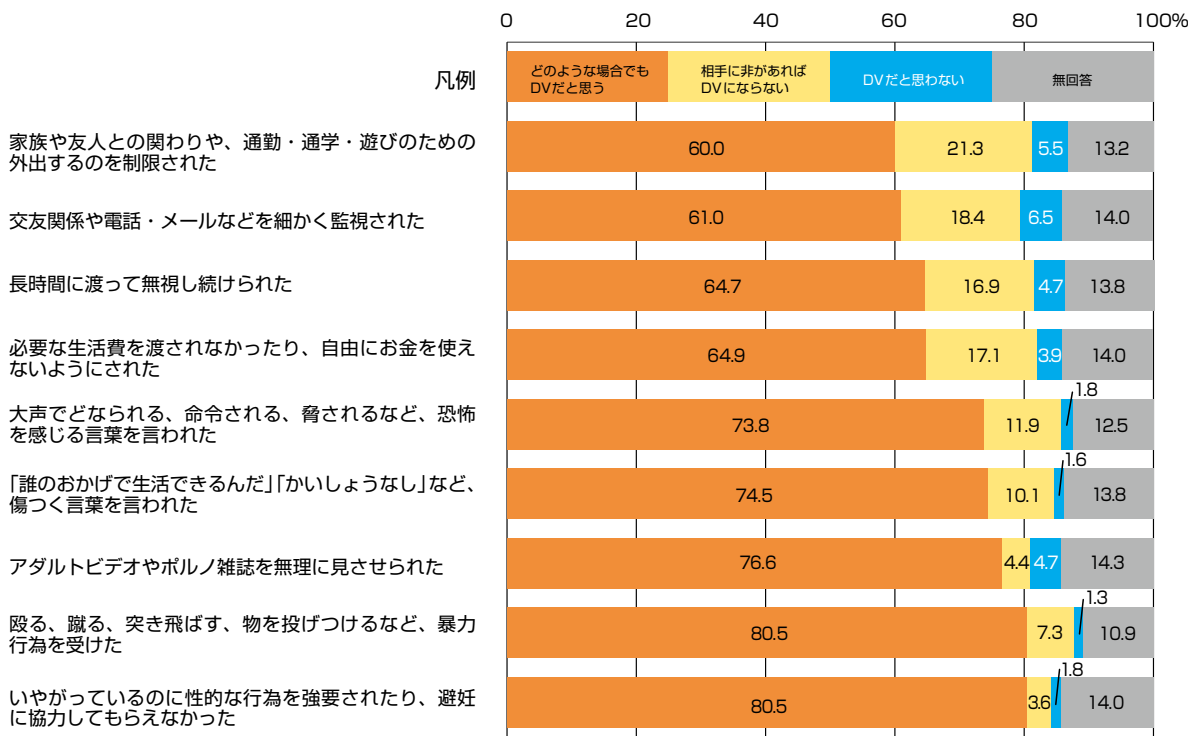
※ 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

Q. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか？



結婚や家庭に関する考え方についてたずねた設問です。
夫は仕事、妻は家庭という考えに対して、令和7年の調査では「そう思わない」という区民の回答が、令和6年の国の調査の「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」(64.8%)という回答より多くなっており、固定的な性別役割分担意識に否定的な考えを持つ人は、国と比較しても多く、性別にこだわらない考え方を持つ人が増えてきたことが伺えます。

Q. 配偶者やパートナーによるこれらの行為をDVだと思いますか？



「殴る、蹴る、突き飛ばす、物を投げつける」、「性的な行為を強要される」などの身体的DVについては、DVだと思う比率が高いものの、「家族や友人との関わりや、外出を制限された」り、「長時間に渡って無視し続けられた」などの精神的暴力もDVだということが、まだ認識されていないことがわかります。





MIW相談室だより



「暑いですね～」が口癖になっているこの頃。「暑いだけでもイライラするのに、親とかパートナーのこんなところにいつも以上にイライラしちゃうんですよ」、なんてお話も気軽に話せる雰囲気がMIW相談室にはあります。

最近は、「AIに案内されて男女共同参画センターMIWを知りました」「今までAIに相談してきたけれど、人に話を聞いてもらいたいと思いました」と、初めて利用される方もいらっしゃいます。

暑い時期は汗がたくさん出たり、寝苦しかったり、ぼーっとする…など、さまざまな体のサインが心の状態を知らせてくれます。私は氷を口に入れてみて、ほんのりと感じてくる味や舌の感覚などに注意を向けることで、心のもやもやと一時的に離れてみてい

ます。

時には体や心のサインに、代わりに気付いてくれる人や、困ったこと、悩んでいることを共有できる人が居ても良いのではないのでしょうか。MIW相談室では、相談員が守秘義務を守りながら、一緒に共有させていただきます。

MIW相談室にお越しの際は、まずは電話でご予約ください。ご利用をお待ちしています。(R)

まだまだ暑い日が
続いています。
MIWへご来館の際は
暑さ対策を
お忘れなく！



MIW 相談室

予約専用電話 03-5211-4316

MIW相談室はあなたが抱えているさまざまな悩みや困りごとを一緒に整理し、問題解決の糸口を見つけるお手伝いをしています。夫婦やパートナー、家族との関係、働き方、ハラスメント、性に関すること、性暴力被害など、困っていることがあったら、一人で悩まずご相談ください。予約制です。(区内在住、在勤、在学の方対象)



▲ MIW相談室

一般相談 月曜日 / 水曜日 / 金曜日 10:00～14:50

火曜日 13:00～17:50

木曜日 / 第1・3土曜日 10:00～12:50

法律相談 毎月第2火曜日 10:00～11:45 (女性のみ)

LGBTQ相談 毎月第2・4木曜日 16:30～19:30

MIWのさまざまな情報をお届けします



MIWでは広報千代田や区内掲示板のほか、さまざまな情報発信をしています。ホームページやメールマガジン、SNS (Facebook、Instagram) に加え、MIW公式 YouTube チャンネルではMIWの紹介をご覧いただけます。



▲ ホームページ



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ YouTube

千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)



所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩5分
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後8時 土曜日 午前9時～午後5時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
Eメール miw@city.chiyoda.tokyo.jp URL https://miw.city.chiyoda.lg.jp
SNS Facebook @chiyoda.miw Instagram chiyoda.miw

編集後記

今号の特集1では、テレビドラマに描かれた恋愛・結婚・家族を取り上げました。身近なエンタメであるテレビドラマも、あらためて振り返ると、社会の変化を的確に映し出すメディアであることに気づかされます。MIWでは、これからもジェンダーの視点から社会を読み解く講座や情報を発信していきます。ぜひMIWを覗いてみてくださいね。(S)



◀ MIW講座情報等をお送りします。メールマガジンの登録はこちらへ